

# 冬季の災害を防止しよう！

## 8つのポイント

秋田労働局健康安全課

### ～事前の対策で安全確保 今年の冬もゼロ災害～

#### 1 凍結路面などでの転倒災害

危険な場所（屋外通路・駐車場、出入口等）に注意表示、融雪剤などで対策

滑りにくい靴の選定、滑りを意識した歩行、両手で荷物を抱えた歩行に注意

気象状況に注意（暖気後の冷込み時等）

#### 2 除雪機械との接触・巻き込まれ災害

作業場所には関係者以外の立入りを禁止、又は誘導員の配置

回転部分等の点検はエンジンを停止

防寒衣類による重機の誤操作に注意

#### 3 雪下ろし作業での墜落災害

屋根の構造、材質を把握し、踏み抜きの危険性の点検と墜落防止措置の実施

開口部等の墜落危険箇所では安全帯の使用（親綱の設置）、保護帽の着用

移動はしごの滑り止め、転位の防止

#### 4 雪捨場などでの重機災害

ダンプトラック等との接触に注意、関係者以外の立入禁止、又は誘導員を配置

安全な作業計画の策定と運行経路の確保

雪融けなどによる路肩崩壊の危険がないか事前点検、安易に進入しない

#### 5 山間現場での雪崩災害

作業日ごとに気象状況を確認し、大雪や気温上昇等の変化に注意

作業開始前に雪崩の危険について調査し、積雪面を十分点検

雪崩の兆候があれば作業中止、危険箇所には立入禁止措置を徹底

#### 6 雪道でのスリップ交通事故

冬用タイヤの摩耗を点検、早めの装着

余裕を持った走行計画で運行、速度は控えめ、十分な車間距離の確保、急発進、急ハンドル、急ブレーキは行わない

社有車の運転者への交通安全教育の実施、健康状態の確認

#### 7 建築物の倒壊、落雪災害

建物の構造、強度等を把握し、雪下ろしをする積雪量の目安を定める

落雪の危険箇所にはバリケードや標識を設置し、立入を禁止

早めの雪下ろしに努める

#### 8 屋内、コンクリート養生でのCO中毒

自然換気が悪い場所では、内燃機関や練炭コンロを極力使用しない

やむを得ず使用する場合は、関係者への周知・教育と立入禁止の表示を徹底

使用后内部に立入る場合は、十分な換気とCO濃度の測定